

説明会質疑応答記録

<オンライン説明会> 7/1 (水) 19:00~

- ・値上げの原因が埼玉県での陥没事故やPFAS対策ではないことが分かった。
- ・PFASについて今井では461と非常に高い値だった。測定地点を地図で確認したい自然歩道やキャンプ場があるところではないのか？
- ・PFASはまだ知見がないが健康被害が無いとはならない。住民健診に血中濃度測定を追加し、データを蓄積していくことが健康を守ることに繋がる。
- ・クリーンな政策でイメージアップを図る事で、子育て世代が移住する要因になると思う。
- ・現在の水道水のPFASはどこも基準より低い、高い値が出る可能性は否定できない、数値が高くなってから対応するより自治体判断で予防的措置をお願いしたい。

→今井の461という数値は、令和7年12月に今井開拓パイロット付近で実施した水質検査の結果。

水道の水質検査ではPFASが法定検査の対象になった。市では以前から検査を実施し結果も含めHPで公表しており、基準以下の低い数値となっている。

水道の井戸で高い数値が出たり、災害や停電で使用できなくなった場合は、井戸からの取水をストップし、県営水道に切替えることで給水は継続することができる。緊急時に県営水道からの供給量を増加できるように、対象の水道管を太くする工事も今回の経営戦略に盛り込んでいる。

→クリーンな犬山の想いは同じ。犬山市独自で川の水を検査し結果をお知らせしてきた。水道水の数値には問題ないので安心していただきたい。

- ・水道水に関しては分かったが、今井の高い数値に関しては国の指示があるまで注視ということか。

→この説明会は水道についてなので、今井の数値に関する事は後日環境課からお伝えしたい。

川の水質を検査することはできるが、原因元は分かっていない。

今後も川の水質チェックをしながら現状把握をすることしかできない状況、そこはご理解いただきたい。

- ・電力事業のように水道も将来的にスマートメーターを導入するのか

→現在は検針員による検針を実施しているが、スマートメーターを導入すれば人件費の削減はできるが、スマートメーターの価格が高い。

他市で検針が困難な場所等に限定し実証実験をしているところはある。

犬山市でも検針困難箇所に限って無線式の採用例はあるが、価格的にスマートメーターを広く採用する状況ではない、今後価格の動向を見ながらコスト削減効果が見込めるか検討していく。

→水道メーターは計量法により8年毎に交換が必要なため、そこも考慮しなくてはならない。